

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
206	体育	2	2	全学科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

<p>科目の目標</p> <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

<p>評価の観点とその趣旨</p> <p>① 知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解している。運動を豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高めようとしている。健康・安全を確保したり、運動に対して主体的に取り組もうとしている。</p> <p>評価の方法</p> <p>運動の知識・技能の点検、確認、分析（ペーパーテスト、スキルテスト、学習プリント 等） 記述の点検、確認、分析（学習プリント・グループワーク 等） 行動の観察、確認（グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等）</p>
--

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点 ① ② ③		
4	体ほぐしの運動	集団行動、ラジオ体操、体ほぐし	集合、整頓、列の増減、ラジオ体操の仕方を理解し、行動できる。 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解できる。 ラジオ体操や様々な体ほぐしの運動を行うことを通して、気付いたり、仲間と関わりあったりしている。 自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保している。	○		
	ゴール型	バスケットボール、ハンドボール	それぞれの球技に用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解することができる。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保している。	○		○
6	水泳	背泳ぎ	各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。 合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見付けることができる。 自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し、健康・安全を確保している。	○		
7					○	
						○
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点 ① ② ③		
9	実生活に生かす運動の計画	新体カテスト	それぞれの種目の体力要素を理解し、自己の目標に向けて取り組むことができる。 体力の程度を踏まえ、仲間とともに活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。 自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○		○
10	長距離走	マラソン	自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 記録の向上に有効な練習方法のやり方について、自己の考えを伝えることができる。 一人一人の技能の違いに応じた課題に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保している。	○		
11					○	
12	ネット型	バレーボール、バドミントン	それぞれの球技に用いられる技術や戦術、戦術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて理解することができる。 役割に応じて、拾い、つなぎ、打ち返すことができる。 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保している。	○		
1					○	
2	柔道	柔道	身を守るための受け身や相手の動きの変化に応じて抑えたり、返したりするなどの攻防をすることができる。 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすることや健康・安全を確保している。	○		
3					○	
年間	運動・スポーツの学び方	スポーツにおける技能と体力、スポーツにおける技術と戦術、技能の上達過程と練習、効果的な動きのメカニズム、体カトレーニング、運動やスポーツでの安全の確保	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解している。 自己や社会についてのスポーツの意義や課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、自己の考えを他者に伝えることができる。 課題を発見、解決するための意見交換などの学習に自ら進んで取り組んでいる。	○		○